

10月5日(金) ART SETOUCHI イベント「大島 島とつながる交歓会」開催 「島間交流事業 2018」も同時に実施します

瀬戸内国際芸術祭実行委員会(会長:浜田恵造香川県知事)では、3年ごとに「瀬戸内国際芸術祭」を開催し、その間に、アートを通して地域の活力を取り戻し、再生を目指す活動である「ART SETOUCHI」に取り組んでいます。

この度「ART SETOUCHI」の一環として、2018年10月5日(金)大島において、「大島 島とつながる交歓会」を開催します。

2011年から大島の入所者のみなさんと島外の来場者の交流の場をつくることを目的に「大島あおぞら市」を開催してきました。今年度は、これまでの取組みをさらに発展させ、大島に瀬戸内の島々のみなさんが集まり、食・文化・歴史などの情報交換を行い、交流を深めるため「大島 島とつながる交歓会」を開催します。

交歓会では各島の皆さんが持ち寄ったものの販売のほか、伝統文化の披露を行います。一般の方にもご参加いただけます。(下記参照。)

また、瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けて、芸術祭の会場となっている島の方々が互いに交流し、島おこしなどの取組みについて情報交換を行う「島間交流事業 2018」として、「大島 島とつながる交歓会」に参加している直島、小豆島、犬島、宇野港周辺の住民の方々(約 10 名)が交流会を行います。

◎取材についてのごお願い

- ・「大島 島とつながる交歓会」、「島間交流事業 2018」の取材をご希望の方は、国立療養所 大島青松園(TEL:087-871-3131)に連絡後、別紙の「取材許可願」を必ずご提出ください。
- ・大島にお越しになる際は、「高松⇄大島」間の官有船をご利用ください。なお、官有船に乗船人数を報告する必要がありますので、官有船の乗船時間を大島青松園と実行委員会事務局までお知らせください。

●「大島 島とつながる交歓会」概要

日時 | 2018年10月5日(金) 10:45~15:20

場所 | 大島(香川県高松市庵治町)

行程 | 10:45 高松港集合(大巻伸嗣「Liminal Air - core -」前)

11:15 高松港発 - 11:35 大島着

11:40 こえび隊による島内ガイド

12:30 **瀬戸内のお店が集まる市場**(場所:社会交流会館)

※市場は大島の方々も来場するため、11:30から開始しています。

13:45~14:45 **伝統文化などの披露**(場所:大島会館大ホール)

13:45~ 男木地区連合自治会 獅子舞

13:55~ 小豆島石節振興会 歌

14:10~ 阿部金三郎・銀三郎兄弟 津軽三味線

15:00 大島発

15:20 高松港着・解散

料金 | 1,000 円

定員 | 20 人 (先着順)

申込 | NPO 法人 瀬戸内こえびネットワーク

WEB (申込フォーム) | www.koebi.jp FAX | 087-813-1742 メール | info@koebi.jp

※FAX・メールは、件名を「大島 交歓会」とし、お名前・電話番号を記載してください。

【「島間交流事業 2018」概要】

「大島 島とつながる交歓会」

日 時 | 2018 年 10 月 5 日 (金) 11:40~15:30

内 容 | ・大島の島内見学 (芸術祭作品などを見学)

・「大島 島とつながる交歓会」に参加

・参加者の交流会

対 象 | 会場となる島：大島 訪問する島：直島、小豆島、犬島、宇野港周辺

(今後の交流スケジュール | 10 月「伊吹島・フォトラリー」※観音寺市主催イベントに参加)

男木地区連合自治会

男木島の獅子舞は"なぶり"と"獅子"、そして鐘と太鼓で行なう。いつ、どうやって伝わったかは諸説あるが、おおよそ 100 年程前には奉納されていた。

男木島と女木島は、1 年交代で夏の大祭を執り行っているが、男木島の獅子舞は現在も夏、秋それぞれのお祭りで奉納されている。



Photo:Shintaro Miyawaki

小豆島石節振興会

豊臣秀吉が大坂城築城の際、小豆島よりお城の土台となる石が切り出された。崩落したお城の石垣修復の際にも徳川幕府の命を受けた諸大名が天領であった小豆島から、石垣修復の石を切り出し大坂城へ運搬したという歴史がある。

その時代に石を切り出すときに歌われたとされる石節という歌が残され、今でも小豆島ではお祝いの席の余興の一番の出し物としてこの石節が歌われている。石の文化が根付く小豆島ならではの、郷土芸能として幅広い世代に定着するよう積極的に活動中。



阿部 金三郎

幼少期より芸事に勤しみ、わずか 12 歳で高橋流の名取を襲名し「金三郎」を名乗る。平成 17 年祈願の全国津軽三味線コンクールを二十歳で制覇し八代目全国チャンピオンに輝く。それを機に兄弟でのオリジナル CD「零」(平成 17 年)「壱」(平成 22 年)と 2 枚の CD を発売。和太鼓集団「鬼太鼓」とのコラボレーション、台湾 1 周ツアーに参加しその名を全国に轟かせた。日本のみならず海外にも活躍の場を広げ、海外 15 カ国以上の公演も行う。



阿部 銀三郎

民謡家である両親のもとに生まれ、学生時代より民謡の店「浅草追分」で修行をはじめ。日本最高峰の全国津軽三味線コンクールでは 5 年連続で準優勝という苦悩の末、2010 年ようやく 13 代目チャンピオンの称号を手にする。現在は兄と共に国内外で活躍中。